

35歳の誕生日当日。

あおり運転されて止まったら、  
後ろの車から老人が出てきて…。

**首を刺**された。

車の窓を閉め、ドアロックすべきと分かっていたが、  
相手が老人と思って…。

**油断**した。

…どうやら、**死**んだらしい。

そして、真っ暗な闇の中で  
オナホみたいな化物に言われた。



===次、どうする?===

「幸せに生きたい」

そう言いながら頭の中で、も♡むすの主人公を思い浮かべていたら…。

**搾精用のオス牛に転生した。**

「じゃあNo.458。お搾り開始しま〜す。

はい、呼吸を楽にして〜♡

ん、前立腺はココだね。

緊張しなくても大丈夫だよ〜。

お姉さんがシコシコで気持ち良く射精させてあげるからね〜」

「No.458は、転生型のオス牛で、元は人間だったようです」



「あ、そうなんだ〜。

じゃあ、お姉さん期待しちゃうなあ〜♡

たくさんせ〜えき出してくれるオス牛さんは、

大事にしてもらえるよ♡

頑張ろうね〜♡

じゃ、瓶もセットできたら、シコシコ開始しま〜す♡」



「うわ～、たくさん出たねえ～♡

偉いねえ～♡

これは転生前は童貞か、オタクだね♡

そういう仔は、オス牛として凄く優秀だよ～♡

お姉さん、キミの事気に入ったよ～。

奮発して、買っちゃおうかな～♡」

「資料によると、転生前からマゾ気質のオタクで  
なんでもモンスターに搾られるのが夢だったとか」



「あ～、それは残念♡

ゴコは、人間は女の子しかいない世界だから、  
モンスターはいないよ～。

でも、キミは牛と人間のハーフだけど(笑)」

「一搾りで瓶いっぱい満タンです。  
いかがなさいますか？」

「高いけど・・・、買っちゃおう♥」

35歳童貞、転生したら  
搾精用のオス牛だった件。

(こんな感じの人生でした♥)



体験版はココまでです♡  
続きは、本編をダウンロードして下さい♡

